



**2015年度 年主題『平和』をつくる**

**0・1・2歳児 3月主題 「おおきくなった」**  
月のねがい  
◎保育者や友達と共に喜んで礼拝を守る  
◎自分でやりたいという思いをもつ  
◎家庭や保育者間の丁寧な連携の中で、安心して進級する

**3・4・5歳児 3月主題 「おおきくなった」**  
月のねがい  
◎新しい生活へ安心して向かおうとする  
◎友だちと協力し、アイデアを出しあい、工夫して遊びを充実させる  
◎お互いが、かけがえのない存在であることを感じ、感謝して過ごす  
◎助け合うことを大切に思い、祈る



**お兄ちゃん、お姉ちゃんみたいになりたいな**

桜の花も少し咲き始め、春はもう近くまでやってきていますね。さて、今年度も残すところ一ヶ月になりました。

2月からも組さんは、自分のカバンの中身の片付けに挑戦中！お帳面のシール張りやタオルかけを頑張る1歳児さん。それを見ていた0歳児さんも「やりたい！」と訴え、今では0歳児もお片付けを頑張っていますよ。小さくても「自分でやりたい」の気持ちが育ってきています。

3学期に入り、4・5歳児さんは本格的になわとびのおけいこを始めました。園庭でも、なわとびが苦手なお友だちも毎日毎日自分の縄を握りしめて跳ぶ姿がよく見られます。

ある日、5歳児の女の子がなんと200回も跳ぶことができました。その後はなかなか記録が伸びない日が続いていましたが、つい先日、ある男の子が「去年、〇〇くん500回跳んだよね。」とポツリ…。次の日、そのつづやきから「去年の記録を超えよう！みんな頑張ろうね！」の先生の声に、いつになく真剣な子どもたち。100回、200回、300回、そして400回。500回には届きませんでしたが、なんと3人のお友だちが400回を跳ぶことができました！3月に大記録を期待します。

去年のなわとびを間近で見ていたお友だちは、きつとずっと去年の年長さんに憧れていたんだな…と思うことでした。この出来事を通して、異年齢児との縦のつながりでお互いにとてもいい刺激になっていることを改めて感じました。また、これからも子どもたちのつづやきからやる気を引き出していくことも大切にしていきたいと思いました。

年長児さんはもうすぐ小学一年生ですね。めいろうこども園の憧れの存在がいなくなってしまうのは寂しいですが、きつとみんなの心の中にいつまでも残ることでしょう。残り少ない日々、一緒に遊んで、おしゃべりして…園での楽しい思い出をたくさん作ろうね。

大河

**今月の聖句**「もっとも小さいものたちの一人にしたのは、わたしにしたのです。」  
マタイ: 25:40

この言葉が発せられた経緯を、原文のまま紹介した方が解りやすいと思います。以下原文。「王は右側にいる人たちに言う、『さあ、わたしの父(神)に祝福された人たち、天地創造の時から、お前たちの為に用意されている国(天国)を受け継ぎなさい。お前たちはわたしが飢えていた時に食べさせ、のどが渇いた時に飲ませ、旅をしていた時に宿を貸し、裸の時に着せ、病気の時に見舞い、牢にいた時に訪ねてくれたからだ。』すると、正しい者たちが王に答える、『王よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て、食べ物差し上げ、いつ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか、いつ、旅をしておられるのを見て、お宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか、いつ、病気をなされたら、牢におられるのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、王は答える、『はっきり言って、わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことである。』」マタイ福音書 25章 34節～40節

日本の諺にも「情けは人のためならず。」という同様の趣旨のものがありますが、マタイ福音書の方が具体的です。紛争や、自然災害で飢え、渴き、家を無くし、そのために丸裸となり、病気になる人が世界のあちこちで多発しています。これらの悲劇を他人事として見過ごさず、園でも、家庭でも話題にし、助け合うことに関心をもっていただけたら、これまた、やさしい心の持ち主の子どもが育つのではないのでしょうか。

前理事長 池田公榮

**3月の行事予定**

1日(火)	参観日(たんぼぼ・すみれ)
4日(金)	お別れ会・給食バザンク
18日(金)	卒園式・父母の会決算総会(1号:午前保育)
22日(火)	修了式(1号:午前保育)
30(水) 31(水)	年度末休業日

**4月の行事予定**

7日(木)	始園式(1号:午前保育)
11日(月)	入園式(1号:午前保育)
"	弁当日
20日(水)	弁当日

**1～3号認定 園児 めいろう児童クラブ 入園・入会申込み受付中**

募金のご協力に感謝します。36,796円を国際飢餓対策機構へ送金することができました。



旅立ちの春

三寒四温を経て、一雨ごとに暖かみを増してきました。記録的な寒さから穏やかな春の日々を迎えます。河津桜は満開を迎え、いよいよソメイヨシノの花がほころび始めました。一年の仕上げのときであり、喜びと寂しさのときでもあります。

四月から始まった「子ども・子育て支援新制度」も、様々な課題を覚えて一年が過ぎようとしています。県内の私立幼稚園では約半数が新制度へ移行しました。幼保連携型または幼稚園型の認定こども園、そして施設型給付の幼稚園への選択です。まず、保育所と同じように、運営について市町村が主管となり、経営の要となる補助金や保護者の負担金のあり方も大きく変わりました。県の運営補助から市の施設型給付になり、保護者負担は所得に応じた利用料設定となりました。特に多子世帯に対する負担は、大いに軽減されたのではないかと思います。以前の制度では、幼保連携型認定こども園といつても、認可幼稚園と認可保育所の集合体なので、経理処理や職員配置等は別施設処理でした。新制度では、「認定こども園」という一つの教育・保育施設に位置づけられたので、特に職員の配置や業務の改善を進めることができました。月単位の変形労働時間を取らざるを得ないので、平日における担任の休業に不安を覚えられた方もいらっしゃいます。しかし、主幹保育教諭を中心としたチーム保育の実践を重ね、大きな混乱を招くことは無かったです。これは無かったです。ただ、職員採用に東奔西走していますが、新卒者や資格者不足で難しい状況です。

年長児はいよいよ卒園を迎え、入学の備えが始まります。「タイケン・タンケン・タイケン」をバネにして自分らしさを発揮して欲しいと思います。社会的な人間としての基盤は、様々な体験と友との交わりの中にこそ培われます。これから益々いろいろなことに挑戦し、主体的な欲求を育んで欲しいものです。子どもたちを忍耐強く、温かく見守り育てていくことは、希望に胸ふくらませて春を待つ気持ちに通じます。多様化する時代にあっても、一番大切なものは、いつも目に見えないのだということをお忘れずにいてほしいです。神さまの大きな愛と人々の愛に満たされ、心優しいひかりの子として歩むことが出来まますように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力を戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫びし、心より感謝申し上げます。

園長



**親子触れあい体操のすすめ**

**2歳児～**

- 高い高い**: 子どもの大好きでシンプルなあそび。遊ぶことで楽しく感じ、またやりたいという気持ちを起こさせます。
- スーパーマン**: 親は、子どもの胸とももに手をあてて持ち上げます。子どもを上下させる、いっそう喜びます。
- メリーゴーラウンド**: 子どもを抱っこして腰と背中を手で支え、脇で子どもの足をしっかりと挟み、クルクル回ります。上下させたり、回る方向も変えてみます。

**2・3歳児～**

- ロボット歩き**: 親の足の甲に、子どもが乗り、親子で手を握っていっしょに動きます。前方や横方向、後ろ方向へと移動します。親が大まかに動くと子どもは喜びます。
- 逆さロボット**: 子どもが逆さになり、親の足の甲に、子どもの手を乗せます。親は、子どもの両足首を持ち、少し引き上げて歩きます。
- ネコ車**: 子どもにとって、腹筋や背筋、腕力を使うダイナミックな運動です。前進だけでなく、後ずさりもします。持っている足の高さを低くすると、少し歩きやすくなります。